



南相馬復興 ソーシャルビジネス ギャザリング

～地域から未来の東北・日本を生み出す～

テーマ

参加
無料

農業・再エネ・新しいビジネスなど、地域の総力で復興促進

～被災地・ふくしまを、再生可能エネルギー（再エネ）と農林漁業（食）の先駆けの地に～

南相馬の地域資源（農林漁業・再エネ・起業家など）を活かしたソーシャルビジネス（SB）の未来について語ろう

東日本大震災と東電原発事故から三年半。甚大な被害を受け、今もその影響が大きい南相馬。

しかし、被災地特有の課題に向き合いながら、地域の課題に真っ向勝負する農業が、再エネ事業が、新しいビジネスが、芽生えています。復興課題と地域課題を融合させ、SB事業による復興の促進です。さあ、南相馬の未来を、ともに熟く語り合おう。

2014.11.27 木 13:00-18:00

会場

南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
多目的ホール

南相馬市原町区本町二丁目28番地の1



【アクセス】

バスの場合：福島駅から福島交通、東北アクセス バス停「南相馬市役所」下車徒歩3分
車の場合：二本松IC、福島西ICから約1時間30分

【主催】一般社団法人 ソーシャルビジネス・ネットワーク

【共催】特定非営利活動法人うつくしま NPOネットワーク

【後援】経済産業省、福島県、南相馬市、原町商工会議所、あぶくま信用金庫、株式会社ゆめサポート南相馬、南相馬市市民活動サポートセンター、NPO法人さぼーとセンターひあ、NPO法人ほっと悠、NPO法人懸の森みどりファーム、NPO法人つながる南相馬、南相馬市ふるさと回帰支援センター、一般社団法人ふくしまNPOバンク（FNB）、福島県ソーシャルビジネス推進協議会（F-SB）、復興庁（申請中）

13:30～14:30 基調講演
[地域の総力で復興促進]

14:35～16:05 パネルディスカッション
[地域資源（農林漁業・再エネ）がつくる、ふくしまの未来]

16:20～17:30 事業者交流会
[登壇者との事業者交流会]
[参加者との事業者交流会（出展ブース紹介含む）]

本事業は、経済産業省「平成26年度被災地の社会的課題解決事業支援補助金」を受け、実施しています。

問い合わせ先

一般社団法人 ソーシャルビジネス・ネットワーク

〒107-0062 東京都港区南青山1-20-15 Rock1st 3F

E-mail: info@socialbusiness-net.com

Tel: 03-6820-6300 Fax: 03-5775-7671

<http://www.socialbusiness-net.com>

現地連絡先：特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク Tel: 024-953-6092

ステージプログラム

(敬称略)

1 13:00 開始

2 13:30～14:30 基調講演
[地域の総力で復興促進]

登壇者

河野通洋 株式会社八木澤商店 代表取締役

3 14:35～16:05 パネルディスカッション

[地域資源(農林漁業・再エネ)がつくる、ふくしまの未来]

パネラー

西みよ子 NPO法人あさがお 理事長

和田智行 小高ワークスペース 代表

澤田竜一 株式会社ドリームゲート 専務取締役

モデレーター

丹治惣兵衛 福島県ソーシャルビジネス推進協議会会長
国立大学法人福島大学 地域創造支援センター 特任教授

4 16:20～17:30 事業者交流会

[登壇者との事業者交流会]

[参加者との事業者交流会(出展ブース紹介含む)]

5 17:30～17:45 総評

6 18:00 閉会



河野通洋

株式会社八木澤商店 代表取締役

1973年陸前高田市生まれ。レドロック スコミュニティカレッジ卒業。醸造蔵・八木澤商店九代目。食の安全性やおいしさの追求と同時に、地域の活性化や地場産業の育成に力を注いでいる。東日本大震災により社屋、製造工場、自宅が全壊・流失。内陸部に拠点を移し再建に奔走。本社は2012年7月より陸前高田矢作地区に再移転。



西みよ子

NPO法人あさがお 理事長

「あさがお」は「あかるく・さわやかにがんばる・おれたち」が由来。「人として尊ばれ、おもいやり・やさしさ・ありのまま・地域の皆様とともに生活する喜びを」を経営理念とし、病気や障害を持つ人も持たない人も、共に助け合いながら相互理解をし、共に生活できる社会を実現することを目的として事業を展開。現在は、大豆の栽培、加工、商品開発、販売にも注力。



和田智行

小高ワークスペース 代表

2005年7月、東京のITベンチャーの取締役に就任すると同時に旧小高町にUターン。東京の2社の役員を務めながら南相馬市で個人事業を営むワークスタイルを確立。東日本大震災に伴う原発事故では自宅が警戒区域に指定され、妻子とともに避難生活を開始。避難先を転々としたのち、2012年4月に会津若松市に落ち着く。同市のインキュベーションセンター勤務を経て、2014年5月に避難区域初となるシェアオフィス「小高ワークスペース」をオープン。



澤田竜一

株式会社ドリームゲート 専務取締役

生のまま食品の保存期間を延ばす低温貯蔵システムの販売、及び食品の鮮度維持に関するコンサルティングを行う。また、東北地方の生産者が栽培した生産物を首都圏の飲食店へ紹介、農産物加工品の開発及び販路支援、首都圏にて東北地方の食材を使った食事会の開催、食育に関する事業等を展開している。

ステージプログラムのお申し込みについて

本事業のホームページの申し込みフォームよりお申し込みいただくか、
下記返信用フォーマットに記入しFAXにてお申し込みください。

申込み期限:2014年11月20日(木)

FAX 03-5775-7671 URL <http://socialbusiness-net.com/sbg/>

ステージプログラム参加申込書(このまま記入し、FAXにて送信してください)

FAX送信用

お名前	所属	参加人数(同伴者がいる場合)	人
〒 住所			
E-mail	Tel/Fax	紹介者(紹介者がいる場合)	

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、本事業以外での用途では一切使用致しません。